

令和3年度 徳島県企業局「戦略的経営推進委員会」議事概要

1 日 時 令和3年8月4日（水）14時00分～15時30分

2 場 所 ホテル千秋閣 6階 孔雀の間

3 出席者 <委員>

濱尾 重忠（座長）（敬称略，以下同）

粟飯原 一平

坂田 千代子

真鍋 恵美子

中西 美月

<企業局>

黒下企業局長，林副局長，大塚次長，

古井総合管理推進センター所長

福田経営企画戦略課長

河井政策調査幹

生田事業推進課長

細岡施設基盤整備室長

河野自然エネルギー事業化担当室長

4 会議次第

（1）開会

（2）企業局長挨拶

（3）議事

①令和2年度決算概要について

②企業局経営計画の令和2年度進捗状況及び評価について

③企業局経営計画の改定について

④その他

【配布資料】

資料1 令和2年度決算概要について

資料2 「企業局経営計画の令和2年度進捗状況及び評価」について

資料3 企業局経営計画の改定について

参考 徳島県企業局経営計画（平成29年3月策定）

5 議事概要

（1）議題1 令和2年度決算概要について

配布資料に基づき，事務局から説明を行い，質疑応答。

（2）議題2 企業局経営計画の令和2年度進捗状況及び評価について

配布資料に基づき，事務局から説明を行い，質疑応答。

- (3) 議題3 企業局経営計画の改定について
配布資料に基づき、事務局から説明を行い、質疑応答。

<質疑応答>

議題1 令和2年度決算概要について

【委員】

コロナ禍によって駐車場事業の収入が半分近く大きく落ち込む中、指定管理者のティビイケイさんとの新たな取組はありますか。

【企業局】

昨年度はコロナの影響や駅前商業施設の撤退があり、主に藍場町地下駐車場においてはあわぎんホールのイベントの中止が大きな要因となりました。こうした中で、我々としては利便性の向上を図る必要があると考え、松茂駐車場でキャッシュレス精算機導入、さらに両駐車場の照明のLED化等、安心して利用いただけるように努めております。また、利用者アンケートを行っておりますので、新たな要望があればティビイケイと連携し検討していきます。藍場町地下駐車場では、定期駐車の手をいかに利用していただくかが重要ですので、こちらもティビイケイと連携し周辺の施設に働きかけを行って参りたいと思います。

【委員】

藍場町地下駐車場について、他の周辺駐車場料金との差額についてお伺いします。値段設定はどのようにされたのか。

【企業局】

周辺の駐車場は平均的に1時間につき300円程度です。藍場町地下駐車場も同様に1時間につき300円となっております。また、上限も設けております。

【委員】

駐車場の件について追加で質問です。指定管理者との代金の関係で利用者からの利用料金はどちらに収入されていますか。

【企業局】

指定管理者に全額入ります。その後、企業局に納付金という形で支払われます。

【委員】

利用料に応じて納付金が変わってくるため、今回企業局の方で赤字になっているという解釈でよいのでしょうか。

【企業局】

基本料として年間7,500万円を納付頂くことになっております。また、利用料金収入の目標があり、その目標を超えた場合、その半額分を追加で納付していただきます。令和2年度は利用台数が前年比約47%減、料金も50%を超える減ということで納付金の減額措置を行ったことが赤字の要因です。

【委員】

収支については予算との比較であります。損益についてはしなくてもよいのですか。

【企業局】

予定損益と実際の損益の結果の比較というのは資料にはお示ししておりません。

【委員】

今期の着地見込みがどの程度かが気になりますので、今後の課題として考えていただき、そういった点を踏まえ、資料づくりを行っていただけたらと思います。

【委員】

藍場町地下駐車場について、今年の4月・5月は令和2年度の3月までに比べ利用は増えていますか。

【企業局】

昨年度と比較すると増加しています。しかし、令和元年度と比較すると利用は半分ほどとなっています。定期駐車が非常に好調であるため6割程度回復していますが、現状大幅な回復にはなっていません。松茂の駐車場も同様です。

【委員】

工業用水道事業の資本的収入について、他会計から長期借入金4億円を納付ということで、これは土地造成事業から借入を起こしていますよね。一方、工業用水の事業資産表を見ると現金預金が31億円もあります。他会計から借入する必要はあるのでしょうか。また、なんらかの仕組みでこのようになっているのですか。

【企業局】

工業用水道事業では、建設や改良に要する資金を借入して施設整備をしております。令和2年度末の未償還残高が2億3,900万円ほどあり、年間1億1,800万円ほど企業債の償還に充当しています。

また、創設以来40年を超える構造物もあり老朽化対策をする必要があります。そのため、建設改良に今後も多額の資金を投入することから、その方策として、借入を行っています。一定程度資金を保有していないと発災等有事の際に対応困難となることから、自由になる資金を確保しています。

【委員】

31億円もあれば十分な資金と思えますが、それでも借入れた方がよいのですか。

【企業局】

現在、緊急に必要な管路8.4kmの補修工事を行っております。しかし、将来的に工事計画を実施していくためには資金不足が見込まれますので、支払い利息を抑えるために企業局内の他会計から資金融通を行っております。

【委員】

現金預金はどちらにありますか。

【企業局】

全て銀行です。

現金が多い理由としましては、公営企業は一般会計と異なり、予算計上に当たって資金の裏付けがなければなりません。各種引当金の合計は約6億円あり、他会計借入金を含めた企業債の残高としましては、27億円あまりあります。

よって、公営企業の特徴上、資金を手元に残しておく必要があることから、現在の預金残高になっております。

議題2 企業局経営計画の令和2年度進捗状況及び評価について

【委員】

今説明いただいた12番の「川口エネ・ミューを活用した見学会、学習広場や県政バス等の実施」について。この評価をみると他がほとんどA評価の中、C評価でありどうしても目がいきます。コロナの影響もあり、入場者数が激減したのは仕方がないと思いますがデジタルアート等デジタル系に強いエネ・ミューなので、13番の小学校の出前授業もそうですがオンラインを活用した努力はされたのでしょうか。

【企業局】

昨年休館中に自宅で過ごされるお子様方が遊べるようにとエネ・ミューのスタッフが考え、YouTubeにエネ・ミューチャンネルを開設し、サイエンスショーや工作教室を配信しました。また、そのサイエンスショーは、ケーブルテレビあなんや那賀町ケーブルテレビで放送させていただいております。更にお絵かきスマートタウンという非常に人気のあるコンテンツがありますが、そのサービスを自宅で受けられるシステムを作成しました。今年も閉館の時期がありましたが、これらの取組が活かされております。

【委員】

先程川口エネ・ミューチャンネルのYouTube公開と聞きましたが、その再生数やまた、公開したことによる来館者数の増加といった実績はありますか。

【企業局】

YouTubeチャンネルを開設し、その再生回数は上がってきております。しかし、川口エネ・ミューでは現在コロナの対策のため入館者制限等を実施しており、チャンネルを視聴された方の数が来館者数に反映されているかどうかは不明ですが、今後、検証していきたいと考えております。

【企業局】

今は入場制限をしておりますが、今年、実施した取組が今後どのように繋がっていくのかというところを見ていきたいと考えております。意識付けはある程度できたので、次に実際に足を運んでもらう段階に移行させていく必要があると思います。

【委員】

評価結果については特に申し上げることはないのですが、今後企業局が売り上げを伸ばすなら未売水の部分しかないのではないかと思います。先程42番のところ(42：新規需要の開拓や雑用水としての利用拡大等による契約水量の増大)で「具体的に増加に繋がるような回答があったのでBにしました」というコメントだったと思いますが、今期契約に繋がらなくても来期に繋がるようなお話になっているのでしょうか。

【企業局】

具体的には、阿南工水の企業で令和4年度から令和8年度にかけて徐々に取水量を増やしていく計画があると聞いています。問題なのは、阿南工水の方は増えているものの、吉野川工水の方は契約可能な水量がまだたくさん残っているということがあります。このため、今後、工業用水を使っただけの新しい企業の発掘に取り組んで参りたい。また、現在使っただけの企業には、これまでと同様に安定した供給を図っていくことが、我々の一つの大きな使命と考えております。

議題3 企業局経営計画の改定について

【委員】

企業局の事業としては、電気や工業用水は大事ですが、駐車場の事業は企業局で実施していく必要があるのでしょうか。

【企業局】

藍場町地下駐車場成り立ちの背景には、あわぎんホールが創設されてまだ町中に駐車場が無かった時に、公的機関が先行し整備する必要性がありました。松茂駐車場もバスターミナルを県が創設し、こちらも駐車場がなかったため同様に先導的に整備しました。以降民間駐車場の呼び水となり、現在は競合状態となっております。ただちに廃止という訳にはいきませんが、今後の事業の在り方としては需要と供給の関係を充分分析しつつ、どのようにしていくのか検討していきたいと思っております。

【委員】

我々経営者としては、世の中が大きく変わっている中、どう舵取りを行っていくかが課題です。ある講演にて、「徳島でチャンスがあるのはどのような分野か」と質問したところ「自然エネルギー」と回答が返ってきました。地方は、自然が豊かという強いものを持っているとのことでした。

企業局は、4つの大きな柱の事業を行っていますが、新しい事業の可能性の検討はされていますか。

【企業局】

電気事業の中でも大きく状況は変わっています。その中でもエネルギーミックスに向け、どういった部分を強化していくのか、その強弱は出てくると思いますし、また、公営企業法において運営できる事業は限られておりますので、持ち得ている資源の中で時代にフィットしたどのような事業に取り組んでいけるのか検討していかなければなりません。

これまで、和田島やマリンピアにおいても事業を手がけるなど、ノウハウをどんどん溜め込んでおります。その知見を活かしながら、今後の脱炭素社会を目指す中で出てくる新たなエネルギー、こういったものに挑戦していく必要があるかと思っておりますので、常にそういった視点をもってやっていきたいと思っております。

【委員】

計画を策定した当初(5年前)はSDGsはまだ無かったと思いますが、この5年でそういったことが発信されるようになっていきます。今回、「働き方改革」について少し触れられていますが、多様な人材の確保や女性の活躍推進、女性の育児休暇の取得率の向上等そういった観点も入れていただけたらと思いました。技術系の方が多いので、男性が多い職場ではありますが、採用が難しくなっていく中で「働きやすいから企業局を選ぼう」という方が増えるように、そういった視点を取り入れていただきたいと思います。

【委員】

県をあげてSDGsへの取組は行われているので、今のご指摘は良いご意見と思います。

【企業局】

今後、経営力の強化におけるまさに組織と人という企業局の財産になりますので、そういう視点をもって発言していきたいと思っております。ありがとうございます。

【委員】

スマート回廊は非常に良いと思います。徳島の方だと車で行かれる方が多いと思いますが、駐車場料金は高いのですか。

【企業局】

無料です。

【委員】

公共交通機関で行こうと思った時、バス等あるのですか。

【企業局】

バスのみあります。ダムができたのはいいのですが、人が行かなくなりつつありますので、我々としても水源地を活性化していくために、交流人口を増やしていきたいと思っております。

【委員】

カヌーのように自ら足を延ばさないとできない体験は非常に良いと思うので、来場者数を増やすのであれば、もう少し積極的に若い人に向けた広告をしていただけたらと思います。私たち学生も夏休みに行こうと思うので、地域振興につながると思います。

【企業局】

また学生もお呼びして、一度体験していただけたらと思っています。整備が完了した暁には、自らが体験し、自らがSNSで発信してしていく機会も設けられたらと思います。

【委員】

それでは、委員皆様から様々な意見を頂戴しましたので、事務局におかれましては、こうした意見を踏まえた改定案を取り纏めていただき、次回の会議に諮りたいと思います。

議題4 その他

※質疑なし